

# 社会保障（地域医療）改悪に待った！

## —尾道市議会が共産党市議団提案の意見書可決—



日本共産党  
市議会議員団  
週刊議会報告  
【発行】  
岡野長寿  
(0845-22-2596)  
三浦とおる  
(0848-48-5044)

尾道市議会は12月議会最終日（17日）、共産党市議団が提案した「地域医療構想の実施にあたって、住民の声を反映させることを求める意見書」を賛成多数で可決し、国会、関係行政へ送付されることになりました。反対したのは新しくできた志誠会（会長吉田尚徳）6人だけでした。

**国は、地域医療を守るために、機械的な病床削減を行わず、地域の声に充分耳を傾けること**

厚生労働省が9月26日に突如、再編・統合が必要と判断した424の公立・公的病院名を公表し、その中に因島総合病院が含まれていたことから、尾道市議会でも一般質問にとりあげ、会派が現れるなど、この問題にどう対処するかが大きな問題になっていました。

媛県の離島も含めた住民にはなくてはならないもの等から、「寝耳に水」の政府の暴挙は許されないと立場から、本意見書を提案しました。

提案者は、共産党（岡野長寿）、賛成者は共産党（三浦とおる）、公明党（加納康平）、市民連合（檀上正光）、尾道未来クラブ（前田考人）、尾道クラブ（新田賢慈）、誠友会（佐藤志行）、平成会（高本訓司）青嵐会（宮地寛行）。

### 地域医療構想の実施にあたって、住民の声を反映させることを求める意見書（要旨）

病床削減は医療費の抑制を目標としている。従って、住民のニーズや地域の実情に必ずしも一致しない可能性がある。また、機械的に病床が削減されれば、地域医療の崩壊を招く恐れがある。広島県で13の病院が再編・統合の対象として突然の公表があったが、「これでは受診できる病院が身近になくなる」などの不安の声があがっている。

よって、国は、地域医療を守るために、機械的な病床削減を行わず、地域医療の実情に充分耳を傾けること

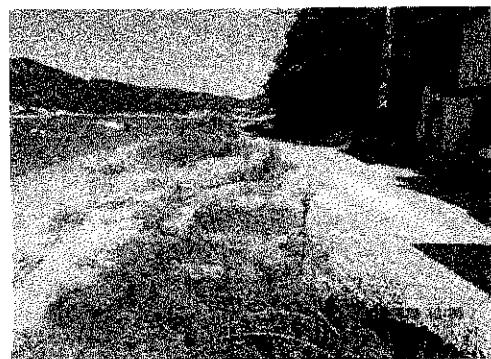
令和元年 12月17日  
尾道市議会

### 「エッ！東尾道駅が無人駅に？」 「通学児童や高齢者の安全はどうなるの」

12月13日産業建設委員会、岡野長寿市議は、「2020年3月に東尾道駅が無人駅になるという情報があるが真偽はどうか？市はどう対応するのか」と質問しました。

煮え切らない答弁に同市議は、「東尾道は人口が増えているところ、エレベーターの設置も要望しているが、児童の安全から、責任ある方、無人化を撤回するよう求めるべきではない」と追及しました。

とうとう、副市長が挙手し、「しかるべき時にしかるべき方が対応する」との答弁を得ました。



### 堤防が切れている？ —岡野市議が改善を要求—

写真（左）は向島道越 対岸は岩子島

続いて、同委員会、岡野市議は防災問題を取りあげました。同議員は、広島県の海岸事業予算が激減していることに危惧を表明。住民から要望があった向島の防波堤がとぎれている箇所を例にあげて、高潮の時にはここから海水が流入するおそれがある、尾道市にはこんな箇所があるのか質しましたが、わからぬとの答弁、要望のある箇所は3箇所というところが判明し、指摘の箇所は県に要望するとのこと。

同議員は、共産党の辻つねお県議がこの問題を県議会で取り上げたことを紹介、尾道選出の県議も現地を確認しているはずなので、スペシャリストで進捗するよう、強く求めました。

0メートル地帯は優先対応するとの点の確認も求めました。

### 新春宣伝1/4（土曜） —ご一緒に希望ある新しい年—

- 10:00 因島モール
- 10:45 瀬戸田フレスタ
- 11:40 向島支所こころ
- 13:00 東尾道駅前
- 13:30 尾道長江口
- 14:00 尾道駅前
- 14:30 メイト川上口
- 15:15 御調支所

岡野長寿・三浦とおる両市議がそろって、恒例の共産党市議団新春宣伝。ご近所の方は一緒にスタンディングをお願いします。

カジノ経済から  
社会福祉国家へ